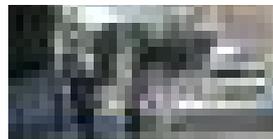




松葉っ子

令和8年
2月26日(木)
発行

見えない「こころの雪」に寄り添って



梅の蕾がほころび始める時期になりました。「2月は逃げる」と言いますが、あと少しで今年度も終わりです。2月初めには、大雪に注意というニュースがあり、校庭は雪化粧となりました。子供たちが大喜びで雪を追いかける姿に、寒さを忘れて心が温まる思いがいたしました。

さて、そんな雪にちなんで、金子みすゞさんの詩「つもった雪」をご紹介します。同じ場所に積もった雪でも、場所によって寒さや重さ、孤独感が異なると綴られています。

学校生活も、まさにこの雪のようです。同じ時間を過ごしていても、一人一人が感じている思いや抱えているものは異なります。元気いっぱい過ごしている子もいれば、見えないところで不安や悩みを抱えている子もいます。

進級・進学を控えたこの時期、子供たちの心は繊細に揺れ動きまわります。表面的な表情だけでは分からない「心の声」に、私たち大人がどれだけ気付けるかが大切です。ご家庭と学校で手を取り合い、一人一人の「中の雪」の思いに耳を傾けていければ幸いです。

つもった雪
金子 みすゞ

上の雪 さむかろな。
つめたい月がさして。
下の雪 重かろな。
何百人ものせていて。
中の雪 さみしかろな。
空も地面(じべた)も見えないで。

新たな仲間を心待ちにして

先日、次年度入学予定の児童の保護者の皆様を対象とした「新入生保護者説明会」を開催いたしました。現在、本校には11名の新しい仲間が加わる予定です。

ご承知の通り、松葉小学校は令和9年3月をもって閉校し、長い歴史に幕を閉じます。次年度に入学する11名の子供たちは、本校にとって「最後の新入生」となります。この小さな11名が、松葉小の伝統を受け継ぐ最後のバトンランナーとして、この学び舎に新しい風を吹き込んでくれることを、教職員一同、今から心待ちにしております。

説明会では、入学に向けた準備や学校生活のきまりについてお話しさせていただきました。保護者の皆様におかれましては、期待とともに、閉校を見据えた環境の変化に不安を感じることもあるかと存じます。しかし、少人数だからこそできる一人一人の心に寄り添った教育、そして「最後の一年」まで変わらぬ深い愛情をもって、大切にお子様をお預かりいたします。

4月、満開の桜の下で、希望に満ちた笑顔に出会えることを楽しみにしております。



長山中学校体験

長山中学校で長山小学校の6年生とともに、中学校体験を行いました。授業見学と模擬授業の他に、長山中の先輩たちから中学校生活について説明を受けたり、たつこのフォーラムで北竜台学園に向けた中学生の取り組みについて話を聞くことができ充実した体験となりました。



第2回学校評価アンケート

保護者の皆様にはご多用の中、第2回学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

次項のとおり、アンケートの集計結果をお知らせいたします。さらによりよい学校づくりを目指し、家庭と学校がより一層の信頼関係が深まるよう努力してまいります。今後とも、よろしく申し上げます。